



# INAKEN PRESS

## 稲津けんご通信



【編集・発行】稲津けんご後援会 【編集責任者】稲津 憲護  
【お問い合わせ】〒183-0041 東京都府中市北山町 2-26-15  
【電話】042-806-9777 【Eメール】inazu.kengo@gmail.com  
【稲津けんご公式サイト】<https://inaken.gr.jp>

公式サイト



### 【稲津けんご 3月議会後の談話】

2020年に入って以降「新型コロナウイルス」が世界中で猛威をふるっています。様々な場で活動自粛や規模縮小などを求められ、早く明るい気持ちになれる日が来ないかと思うばかりです。

3月議会では、一般の傍聴が制限された一方で、これまで実施されなかった委員会審議のインターネット配信が実現しました。逆境の中から新たな光を生み出す力が求められているように感じます。

## 「稲津けんごタウンミーティング 2019」開催

2019年11月25日(月)、武蔵台文化センターにて、稲津けんごタウンミーティングを開催しました。今回は高野のりお府中市長をお招きし、「市長の主張と市議の主義」と題して、府中市政の現状と課題について議論しました。

会の前半では、台風19号に対する市の対応や、「地域社協」とも呼べる地域単位の福祉ネットワークづくりの展望を議論しました。後半の質疑応答では、府中市の賑わいづくりの要望や、市内で見られる鉄塔の安全性を問う意見などが上がりました。

今後もタウンミーティングを行い、市民との意見交換を進めてまいります。ご参加いただいた皆様、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

### 【タウンミーティングの様子】



今回は終始、熱い議論が展開され、会の前後では、ラグビーW杯や府中市長選に触れる場面もありました。



高野市長は「災害時は『共助』を優先し、そこから各地域ごとに対応する流れを作りたい」と強調しました。



稲津は「災害対策として、柔軟性のある避難所運営と、リスク回避型のインフラ整備が重要」と述べました。



台風19号の対応で、様々な協定や連携が生きたことを受け、近隣市との連携を求める意見も上がりました。

## 立憲民主党 稲津けんごの活動記録

2020年1月31日(金)に、菅直人衆議院議員とともに、台風19号の被害を受けた多摩川の現状を視察しました。復旧工事が終わるには時間がかかるとあり、視察に参加したメンバー全員は、市にも安全かつ速やかな対応を求めることで一致しました。

2月7日(金)は、東京9区で活動をしている山岸一生さんが吉祥寺駅で遊説を行いました。山岸さんの熱意が伝わる会となり、応援にも力が入りました。

2月16日(日)は「立憲フェス2020」が開かれ、各地の議員やパートナーズと交流したり、改めて党の姿勢と存在意義を考えたりする1日となりました。



菅直人衆議と府中市議4名で、多摩川の被害・復旧状況を視察。菅議員は国交省に対策を求めています。



菅議員や武蔵野・小金井の両市議とともに、参院選で一緒に戦った「仲間」山岸一生さんを応援。



「立憲フェス2020」には、足元が悪い中でしたが、多くの議員やパートナーズの方が来場されました。



みかんを手にコタツで語るブースに枝野幸男代表も参加。パートナーズとの交流を語る場面もありました。

# 防災訓練に参加 その前に実地対応も

2019年10月、稲津けんごは第七小の防災訓練と、第十中で実施された市総合防災訓練に運営スタッフとして参加しました。現在、西原町自治会で防災委員長を務めており、訓練では人員配置や物資運搬などに携わりました。どちらの訓練も、近隣の方を中心に多くの方が参加されました。

2つの訓練直前には、台風19号が全国各地を襲いました。当日は避難所となった武蔵台小で、避難される方の交通整理を行いました。大雨の中でしたが、避難所で大きなトラブルが無かったのは幸いでした。

万が一のことが起きた際に、訓練も含めて経験が生きるようにしたいものです。

## 【台風19号で感じた困難】



アクセス集中により、市のホームページがダウン。SNSも十分に機能せず、市に多くの苦情が寄せられました。



避難所自体に空きがあっても、車を止められない場所があり、車での避難と誘導の難しさを感じました。



避難された方の多くは食糧を持参していましたが、毛布や着替えが無いという方も見かけました。



雨が強まるにつれ、携帯電話が繋がりにくくなりました。電気に頼れない事態も考えなければなりません。

## 行ったら見えた！地域の課題 ～西府町①～

2019年10月の台風19号発生時、府中市は西府町にある第十中を自主避難所に指定しました。しかし、同じ町内にある西府文化センター（以下：西府C）と、本宿町にある第五小は、最後まで避難所に指定されませんでした。今回の対応に対して、市民からは疑問の声が多く上がりました。

市の担当者に尋ねたところ、西府Cと第五小は崖の上にあることから、安全を考えて指定から外したとの回答がありました。この判断は賢明と言えますが、新たな課題を生み出すこととなりました。

「西府町の災害対策」には、多くの難題があるように思います。

## 【西府町の災害対策の課題】

### 災害発生時、西府町民に逃げ場はあるのか

西府Cと第五小は、西府町に住む多くの方が避難する場です。この2ヶ所が使えなくなると、避難が困難になります。災害弱者への配慮も現状ではまだまだ不十分です。

### 第十中にも限界あり 他町との良いバランスとは

通常は西原町や分梅町の方が利用しますが、先の台風では日新町や住吉町などから多くの方が第十中に避難されました。避難所に入りきれない方への対応も考えるべきです。

### 歴史の古さは危険を生む 建物はこのままで良いのか

西府Cの建物は築48年になります。また、第五小は現校舎や体育館の竣工から50年以上が経過しています。さらなる補強や改築、移転もひとつの災害対策になるかも知れません。

### 災害発生後の生活再建へ 本来機能をどう取り戻すか

西府Cは市の西部出張所として行政手続きを多く担っています。災害後もいち早く対応する必要があります。また、第五小も学校機能を早く取り戻したいところです。



### 稲津けんご 略歴

1968年 北山町生まれ・西原町在住  
北山保育所、府中七小、和光中、都立狛江高卒。  
米・サウスアラバマ大学学士号、米・ピッツバーグ大学院経済開発学修士号取得。  
1999年から2011年まで3期12年、府中市議会議員として活動。父の介護や民間勤務を経て2015年の市議選で返り咲き。現在5期目。

『稲津けんご通信 (INAKEN PRESS)』は  
地域活動や政党活動など  
議会以外での活動を紹介しています。

今回の通信は2020年10月発行予定です。  
(2020年7月は市政レポートを発行します)

### 稲津けんご後援会 入会のご案内

本会は、稲津けんごの政治活動を支援し、府中市民対象の生活相談などを行っています。是非ともご支援を賜りますよう、お願いいたします。

### 稲津けんご後援会 (イナツケンゴコウエンカイ)

【ゆうちょ銀行】

振替口座：00120-4-586638

【多摩信用金庫 北山支店】

店番号：040 口座番号：0021857

会費：いずれも一口1,000円